

# みぞくちミニ新聞

発行元  
みぞくち

購読無料  
毎月発行

## ごはんの時も ソーシャルディスタンス

新しい生活様式の実践の中、みぞくちでもまだまだ解消すべきことがある。その一つが昼食時の混雑。お昼ごはんは皆の楽しみ。一刻でも早くおいしい食事を口にしたい。所長をはじめ誰しも思う事だ。以前は昼食時間になると、多くの人が食堂に一齐に入り、ワイワイとにぎやかに昼食を楽しんでいた。だが、今は3密の解消が必要。さてどうするか？

所長からは条件が付けられた。1. 昼食中は窓を開けて密閉を避けよう。2. 食事の席は極力真正面を避けて、出来れば人と人の間を一席空けて横並びの形で。3. 対面に座らざるを得ない場合は、間に透明

な衝立をたてよう。4. 食事時の会話は控えめに。

この条件を満たすため、森田サビ管を中心に職員さんたちは考えた。食堂の窓を開ける事で密閉は避けられる。残りは密集・密接の解消。これには時間をずらして食事を始める事と、食事場を食堂だけに限らず、他の空いている部屋も食事場所とした。これで3密の解消に近付いた。残すところはやむを得ず対面してしまう場合の衝立だ。今は衝立1つは出来ている、だが、今後の流行第2波を考えると、あと4つは衝立が欲しい。それは現在所長が制作中。ちよっと時間がかかるが、衝立が必要な状

況になるまでには用意したい。さて、食事だけに限らず、食後の歯磨きの時も実は密接になってしまう。今ある2か所の洗面所だけでは限界がある。そこは歯磨きの手伝いをする職員が、順番や場所をうまく調整していくしかない。

3密の解消とはいえ、ただ一つ寂しい思いがするところは、ごはんの時の楽しい会話が減った事。やっぱりごはんは皆でワイワイと会話が増す。だが今は我慢。全てがうまくいくことばかりではないが、皆の安心と安全を確保するため、みんなで力を合わせて、出来る限りの努力をしたい。

### 狙うは雨の合間

#### 公園へレッツゴー

梅雨を迎える6月。就労の公園掃除も忙しくなっている。雨が降れば公園掃除に行けない。長期の雨ともなれば、草木も伸び放題となる。少しでも公園環境を整えるため、雨の合間をぬって作業に出掛ける。雨のせいで通常より労働時間は短く制限される。9

つある公園の状況を的確に把握し、必要な作業をピンポイントで行っていく。利用者の方々は作業時間は短いがやる事は同じ。せつせと掃除をこなしていく。大切なのは、いつどの公園

でどんな作業をするかを決める事。これは就労職員の心配が公園の美化具合を大きく左右する。

公園掃除と一言で言っても実は難しい。どの程度の公園環境が綺麗と判断されるかは、個人の美的感覚に左右されるからだ。自分の感覚だけで判断するとせっかく一生懸命掃除をしてもできていないと言われるかもしれない。悩ましいところだ。

所長から就労職員にアドバイス。公園を訪れる地域の方々が気持ちよく公園を使えるよう、その人たちの気持ちになって環境を整えてほしい。特にこの梅雨の時期は、十分な作業が出来ない為、よく見極めた作業工程が大切になる。

### ちよっと一息

みぞくちミニ新聞の記事、ここ数か月はどうしてもコロナ関連の話題が多くなってしまう。悩ましいところだがこれも必要ではあ

る。だが、利用者の皆さんの日常を切り取った、ほっこりとした話題を提供したい。まだまだ記者としては未熟な所長であります。今後とも努力します。